

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I. 活動の概況

公益社団法人呉法人会は、「税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」という法人会の理念に則り、全法連、県法連と一緒に社会全体への貢献をめざし、税を中心とした事業の活性化を図るとともに、適正・効率的な組織運営を展開しました。

事業の実施にあたっては、法人会の原点である「税」に関する活動を軸として、地域社会の健全な発展に資する事業活動にも積極的に取り組みました。地域社会貢献活動の一環として行っている小学6年生を対象にした「租税教室」や「税に関する絵はがきコンクール」においても、例年通り開催することができました。また、組織基盤の柱である会員増強では関係友誼団体や地元金融機関の協力もあり、81社の新規入会がありました。福利厚生事業では協力保険3社と連携して「Challenge100」キャンペーンを推進し、加入企業と新契約件数の拡大を図りました。

事業並びに会議等の実施内容は以下のとおりです。

II. 主な活動

1 税知識の普及や納税意識の高揚を目的とする事業

(1) 研修活動の充実

税法・税務に関する集合型研修は、今年度実施された「定額減税」に係る研修を主に9回開催。延べ517名が参加され税に関する知識を習得することができました。また、当会ホームページから視聴可能なインターネットセミナー(セミナー・オンデマンド)においても、アクセス数は増加しており、会員企業の税知識等の向上に貢献することができました。

(2) 租税教育に関する事業

平成13年度より取り組んでいる「租税教室」は、担当する小学校28校の6年生児童1,453名を対象に開催しました。また、開催した28校には「租税教室感想文集」を作成して配付し、卒業祝いとしてシャープペンシルを28校の全卒業児童に贈呈いたしました。

16回目を迎えた女性部会主催の「令和6年度 税に関する絵はがきコンクール」は、呉市内35小学校全てから6年生児童1,514名の応募があり、厳正な審査のうえ選出した優秀な作品は、呉市役所や広まちづくりセンターに展示し、多くの市民の方に観覧していただきました。また、11月30日に開催した表彰式では約200名の児童と保護者に出席いただき、賞状と記念品を授与いたしました。

(3) 税知識普及のための街頭活動

呉税務関係団体連絡協議会に協賛し、4月5日に「キャッシュレス納付促進宣言式2024」を開催。一般納税者の皆様に電子納税や振替納税の利用を推進しました。また、「くれ食の祭典」では、税に関する「寸劇」「クイズ」「紙芝居」を開催し税の啓蒙活動を行いました。

2 税を巡る諸環境の整備改善等を図る事業

(1) 税制改正への活動

我が国の経済社会を発展させるために公平で健全な税制の実現を目指すためのアンケートを実施し、「呉法人会税制改正要望事項」として取りまとめ、5月に県法連を通じて全法連に提出しました。

また、11月から12月にかけて寺田衆議院議員、新原呉市長、中田呉市議会議長と面談し、全法連作成の「令和7年度税制改正に関する提言」を持参し税制改正の要望活動を実施しました。

(2) 税に関する広報活動

消費税の「期限内納付推進運動」並びに「e-Tax」、「e-TAX」、「キャッシュレス納付」などのデジタル化を各種会合で推進するとともに、会報・ホームページでも「e-Tax」などの利用推進や、税に関する情報を提供して税知識の向上に努めました。

3 地域企業の健全な発展と、地域社会への貢献を目的とする事業

公益性を高めるため、会員企業に加えて非会員企業、一般市民にも対象を広げた講演会や、経営、経済、健康などに関する研修会を開催したことにより、税務や企業経営に関する小冊子を会員並びに会員以外の希望者にも無償配布して地域企業の健全な発展に寄与しました。また、懇親会や新年互礼会にて会員相互の交流・情報交換を促進し、企業価値の向上を支援しました。

4 法人会会員の活動を支援とすることを目的とする事業

(1) 組織の強化・充実

9月から12月にかけて実施した会員増強運動では、呉税務署、中国税理士会呉支部、福利厚生制度取扱会社3社および地元金融機関3行のご協力のもと、役員、支部長、支部役員、青年部会、女性部会が一丸となって推進した結果、前年度を2社上回る81社の新入会員を獲得することができ、令和6年12月末時点での法人会会員数は2,594社(個人賛助会員98名)、実質加入率は61.98%となりました。

(2) 広報活動の充実

有益な情報を発信していくことを念頭にして、年3回発刊した会報「灰ヶ峰」やホームページを充実させ、税に関する情報や活動内容などを紹介し、法人会の魅力と活力を周知することで税団体として存在感を高めていきました。会報誌は会員企業の他、税務関係友誼団体・地元金融機関窓口及び小学校・一部の市民センターにも配付しました。

また、研修会や講演会の開催案内を都度ホームページに掲載して周知を図り、多数の方にご参加いただきました。

(3) 青年・女性・調査課部会の充実

イ 青年部会 部会員数 56名

青年部会は時代を担う経営者としての資質向上を目的に研修会・交流会等の活動を実施しました。活動の大きな柱である「租税教育活動」では総務委員会主導のもと、租税教室の講師派遣を積極的に行い、税の意義、役割について創意工夫しながら実施しました。年9回開催した理事会では各事業活動等について協議し、6月に事業報告会を、9月に企業視察研修を実施。10月に税務諸団体との親善ボウリング大会、12月に高知法人会青年部会との交流会と開催し他団体との親睦を深めました。また、女性部会と合同で12月に税務研修会を、2月に経営研修会を開催して活動の共有化を図りました。「財政健全化のための健康経営プロジェクト」は、部会員への浸透を図り参加企業増加につなげることができました。

ロ 女性部会 部会員数 34名

女性部会は魅力ある女性部会をめざし、研修事業では青年部会と合同で税務研修会を開催し、研修会後は部会員との親睦交流を図りました。4月に開催された「法人会全国女性フォーラム広島大会」では、接遇担当として広島駅でのお迎えや会場での受付などを、青年部会の協力を得ながら部会員が一致団結して遂行することができました。

16年目を迎えた「税に関する絵はがきコンクール」は、呉市内35小学校全ての6年生児童から1,514作品の応募があり、呉市美術館長を審査委員長として厳正な審査を行い、呉税務署長賞など特別賞8点、優秀賞45点、入選96点を選出しました。入賞した作品は呉市役所や広まちづくりセンターに展示し、多くの市民の方に鑑賞していただきました。また、11月30日には新日本造機ホールにて表彰式を行い、約200名の児童と保護者に出席していただき、賞状と記念品を贈呈しました。

ハ 調査課部会 部会員数 21名

調査課部会は部会の定める目的に従い、実務担当者、経営者を対象とした研修会を開催しました。12月に開催した実務者研修会では広島国税局調査査察部調査管理課の方を講師として「令和6年度税制改正のポイント」をテーマに研修を行いました。また、3月に開催した経営者研修会では、社旗保険労務士を講師に迎え、「ハラスメント防止研修」としてハラスメントのない働きがいのある職場づくりを学び、部会員以外の方にも聴講して頂きました。

5 法人会会員の福利厚生の向上事業

「1社でも多くの会員企業を守りたい」という制度創設時の理念に基づき、2年目となる福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン「Challenge100」推進のため、協力保険会社との連携を密にしながら、組織委員会・厚生委員会および支部役員を中心に情報提供先の紹介や会員との接点構築を行いました。